



太陽学園

平成30年度
学校報3月号①
大仙市立
大曲中学校

平成30年度 第56期生 魁青学年 卒業式ダイジェスト

◇3月9日（土）午後1時開式

思い出の合唱コンクールの曲をBGMに、3年1組を先頭に7クラスが次々に入場。（アナウンス:山田来佳さん）

◇国歌・大仙市民の歌斉唱（伴奏:平 空さん、高橋和瑚さん）

◇卒業証書授与

魁青学年230名への証書の授与が始まります。「1組、井上大空」。担任高橋宏徳先生の点呼に素晴らしい返事で答え、中央演台に進む井上さん。校長先生が証書を読み上げます。「第21682号…」。最後に7組の吉田菜々子さんに証書が手渡され、授与が終了しました。



◇校長式辞

・三年前の入学式で、齊藤大穂さんが新入生誓いの言葉で三つの目標を述べている（①勉強にしっかり取り組み自分の可能性を広げたい②部活動で友人と切磋琢磨し励まし合って心と体を鍛えるよう努力する③たくさんの人と友達になり思いやりをもって接していく。そして校訓「よく生きよ」に込められた意味を学校生活でしっかりと考え、曲中生として何ができるか、何をすべきか考えていきたい）。魁青学年の皆さんは、これらの目標に向かって一生懸命頑張り、一人一人が充実した日々を送り、多くの成果を収めることができた。



・これから皆さんが生きていく時代は、変化のスピードや大きさがますます加速し、グローバルな考えや世界を意識しながら生きていくことが求められる。そのような時代においても、大切なことは思いやりや謙虚さ等の人間性だと私は考える。私たちがこれまでずっと大切にしてきた礼儀正しさを謙虚な振る舞い、周りの人に対する敬意、思いやり等の豊かな心が、国際社会では高く評価されている。ますます心が大切な時代になる。

・皆さんと面談したときに、「よく生きよ」とはどういうことかを全員に聞いた。「周りの人の意見を聞きながら一緒によりよい方向や道を見付けていくこと」と答えた人が多く、驚いた。自分だけがよければ…という風潮が強くなっている昨今だが、

多くの切磋琢磨できる仲間とともに成長してきた魁青学年だからこそ、相手や周りに対する敬意や思いやりの心がしっかり育まれたものであろうと強く感じた。

- ・これからの人生の中で、必ず孤独や挫折が訪れる。そんなとき「よく生きよ」という言葉を思い出してほしい。「よく生きよ」はあなた自身の心を尋ねる言葉である。自分の心に問いかけることで、進むべき道を誤ることなく正しい道が見えてくる。そのことを忘れず、謙虚な心で、自分たちの夢や希望、目標とすることに進んでいただきたい。仲間とともに自分自身を高める努力を継続していただきたい。

◇来賓祝辞（挽野PTA会長より）

魁青学年が育ってきた時代の振り返りやエピソードをご紹介いただいた後、次のようなお話がありました。



- ・このふるさとを大事にしてほしい。そして、守ってほしい。
- ・これから始まる新たな生活には、大きな期待とともに不安もあると思う。これまで以上に悩んだり、行き詰まったり、落ち込んだりすることがあるかもしれない。そのときは、自分の周りを振り返ってほしい。そこには、15年間生きてきて、いつも寄り添い育ててくれた家族や先生、ともに励まし合い過ごしてきた友達の姿があるはずである。皆さんは決して一人ではない。このふるさとをともにする多くの人々が、あなたたちを見守っている。そして、あなたの心の痛みを理解し、助けてくれる人が必ずいる。
- ・そのような、心のよりどころとなるふるさとを大事にして、そしていつか皆さんの力でこのふるさとを守り、育ててほしい。

◇在校生送辞（在校生代表 2年 小松瑞季さん）

・魁青学年の先輩たちが様々な場面でリーダーシップをとり、その手腕を発揮している姿が蘇る。その背中を追って、私たちが頑張ることができた。皆さんとともに汗を流し、目標に向かって切磋琢磨した日々を私たちは忘れない。



- ・何事にも明るく一生懸命に、そして新しいことに挑戦するチャレンジ精神は魁青学年の皆さんのよさであり、私たちが「自分たちの学年の色を作り上げていこう」と思うようになった。
- ・曲中祭で先輩たちが合唱した大いなる秋田は圧巻だった。日々の努力、仲間への思い、大曲中学校への誇りが、皆さんの歌

に込められていた。私たちも皆さんの歌声に近づけるように
思いを込めて歌い継いでいきたい。

- 皆さんは魁青学年の名前のとおり、この大曲中学校を優しい
光で正しく明るい方向に導いてくださった。私たち在校生は、
皆さんから教えていただいたことを大切に、この大曲中学
校の伝統をしっかりと受け継ぎ、よりよい学校をつくっていく
ことをお約束する。

◇卒業生答辞（卒業生代表 3年 齊藤大稔さん）

•3年前の入学式の日、大きな期待と不安を
胸に校門をくぐった。目の前に掲げられた
「よく生きよ」の文字が印象的だった。後
ろから響いてくる校歌に圧倒された。この日が魁青学年の皆
との出会いの日だった。



•(3年間を振り返り)よりよい曲中をつくろうと力を結集して頑
張った。その象徴が曲中祭。特に大いなる秋田の大合唱。ま
た、目標に向かって日々努力を積み重ねた部活動では、どん
なに苦しいときでも支え合い、励まし合った仲間との絆は一
生の財産である。

•(在校生、教職員、ご来賓、地域の方々、保護者へのお礼を述べ
た後)出会ってから今まで、一緒にいることが当たり前だった
魁青学年の皆とは、いよいよお別れである。共に考え共に学
んだ日々の授業、笑顔の絶えることのない休み時間、毎日白
熱する給食のおかわりジャンケン、様々な会話をしたいもの
の帰り道、皆ありがとう。当たり前のように過ごしていた毎日、も
うその日には二度と戻ることはできない。今日は、魁青学年
の皆と一緒にいられる最後の日。辛いけれど、悲しい別れで
はない。私たちは魁青のごとく、新たな時代とともに輝き続け
る一番星を目指して大きな一歩を踏み出す。これからの人生
も「よく生きる」ことをここに誓い、お別れの言葉とする。

◇出発のうた合唱

3年生が整然とひな壇に移動し、「旅立ちの日に」を合唱(指
揮:伊藤彩那さん、伴奏:日景真奏さん)。続いて在校生が「明
日へつなぐもの」の合唱で応え、思いをつないでいきます(指
揮:雲然匡平さん、伴奏:染川琴音さん)

◇校歌合唱

このメンバーで歌う最後の校歌の歌詞の意味が、皆の心に
深く刻み込まれていきます。(伴奏:挽野奈緒子さん、ソリスト:
澁谷茉央さん・藤原優作さん、朗唱:木村凜さん)

◇卒業生退場 午後2時45分



魁青学年から卒業記念品として

高輝度プロジェクターを贈呈していただきました

3月8日に贈呈式があり、学年生徒会長の高橋ひのきさんから校長先生に目録が手渡
されました。ありがとうございました。卒業
式ではこのプロジェクターをつかって、卒業証書を授与される
生徒の姿を大きく映すことができました。今後も大切に使用せ
ていただきます。



栄光賞(大曲仙北中学校校体育連盟表彰)

【団体】

サッカー部 女子卓球部 男子駅伝部
女子駅伝部 女子柔道部 女子バドミントン部

【個人】

杉本 真弥、佐々木佳穂、吉川 真央
戸嶋 聡太、藤本 駿世、菅原 苺波
佐藤 琉聖、千葉 大和、高橋 希和
福田 和彦、本多正太郎、高橋心澄美
長沼 有夏、鈴木 琉花、高橋 里菜

曲中生の活躍(2/23~)

- 第23回大仙・仙北中学校冬季卓球大会
男子団体 優勝、女子団体 第3位
- 第8回奥州市オープン東北中学生バドミントン
強化交流大会 女子団体 優勝
- 平成30年度秋田県総合卓球選手権大会
3部女子 第1位 高橋心澄美
- 第22回西南中学校招待バスケットボール大会
女子バスケットボール部 第1位
最優秀選手賞:児玉春佳
- 第12回中学生バレーボール東北親善大和大会
バレーボール部:準優勝、優秀選手賞:矢野望百花
- 第47回大雄オープン卓球大会
中学生女子2年の部 優勝 佐藤有紗